

研究課題名：	脳卒中患者におけるニカルジピン注射液の持続投与による静脈炎発症の危険要因の分析
所属(診療科等)：	長崎県島原病院 ICU病棟
研究責任者(職名)：	平川 奈菜 (ICU看護師)
研究期間：	2026年3月31日まで
研究目的と意義：	<p>集中治療室 (Intensive care unit:ICU) の看護は、手術後の合併症や疾患の管理において血圧のモニタリングや薬剤の調整に関わることが多いです。厳密な血圧モニタリングとして臨床ではニカルジピン塩酸塩 (以下、ニカルジピン) が広く使用されています。このニカルジピンの持続投与には、副反応として投与部位周辺の静脈炎の発症が多く報告されています。</p> <p>本研究では、ニカルジピンの点滴治療を必要とする脳卒中患者において、静脈炎の発生頻度とその危険因子を明らかにすることで、静脈炎の危険因子の回避や発症を予測した早期介入の検討を目的としています。</p>
研究内容：	<ul style="list-style-type: none"> <li>●対象となる患者さん 2022年4月～2024年3月の間に脳神経外科で脳卒中 (くも膜下出血・脳出血・脳梗塞) の診断を受けた方が対象となります。</li> <li>●利用する情報 <ul style="list-style-type: none"> <li>①ニカルジピンを使用している患者の属性 (年齢、性別、疾患名)</li> <li>②静脈炎の有無 (ニカルジピンの投与期間中)、最大投与速度・総投与時間・総投与量</li> <li>③入院時のAlb値</li> <li>④意識レベルGlasgow Coma Scale、失語・構音障害の有無</li> <li>⑤投与している部位が麻痺側であったかの有無、静脈炎の発症部位</li> <li>⑥せん妄の有無と上肢の身体拘束の有無</li> <li>⑦浮腫の有無</li> </ul> </li> <li>●研究方法 上記データを用いて統計解析し、患者背景や臨床的特徴について解析を行い、ニカルジピンによる静脈炎の発症の実態を明らかにします。</li> </ul>
問い合わせ先：	<p>【研究担当部門】 長崎県島原病院 ICU病棟 住所：島原市下川尻町7895 電話：0957 (63) 1145 FAX 0957 (63) 4864</p> <p>【ご意見や相談に関する窓口】 (臨床研究・診療内容に関するものは除く) 相談窓口：医療相談室 0957 (63) 1145 受付時間：月～金 9:00～17:00 (祝日を除く)</p>